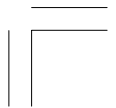
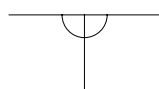
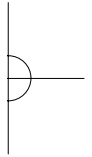
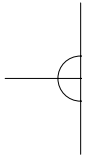
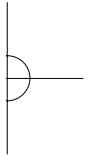
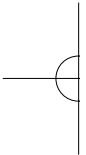
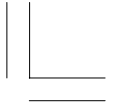
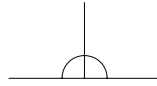
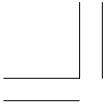


P3FY-1050-01

フラットディスプレイ (GP5-R1DP11)

取扱説明書





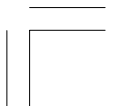
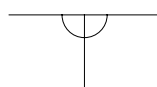
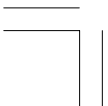
注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

2000年11月

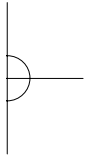
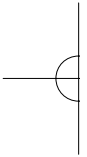
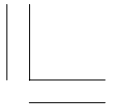
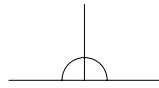
本書で記述している各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

Copyright© Fujitsu Siemens Computers GmBh 1999
All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000

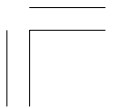
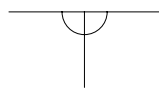
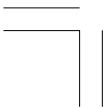


目次

はじめに	1
表記規則	1
梱包品の開梱	1
重要なお知らせ	3
安全性	3
安全上の注意	3
CE認証	4
廃棄とリサイクル	4
フラットディスプレイの運搬	4
取り付け	5
ケーブルの接続と取り外し	5
フラットディスプレイの取り付け	6
取り付け手順	6
取り付けキットとフラットディスプレイの取り付け	6
ラック構成に応じたケーブル接続	11
操作	12
スライドモジュールの操作	12
モニタの調節	13
切替器を利用時の操作	13
スライドモジュールの格納	14
収納ボックス	15
スライドモジュールのお手入れ	15
技術仕様	16
電気仕様	16
外形寸法	16
環境条件	16
索引	17



ii



はじめに

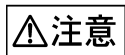
15
7,000

TFT

1024x768

1,600

表記規則



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害（フラットディスプレイの損傷、データ消失）が発生する可能性があることを示しています。

Point

この記号のあとの文章は補足説明、注釈、ヒントです。

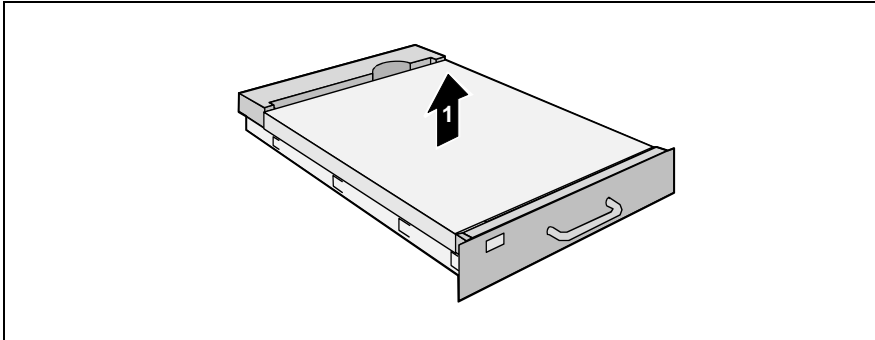
- ▶ この記号のあとの文章は、記載順序に従って行う必要がある操作を示しています。

梱包品の開梱

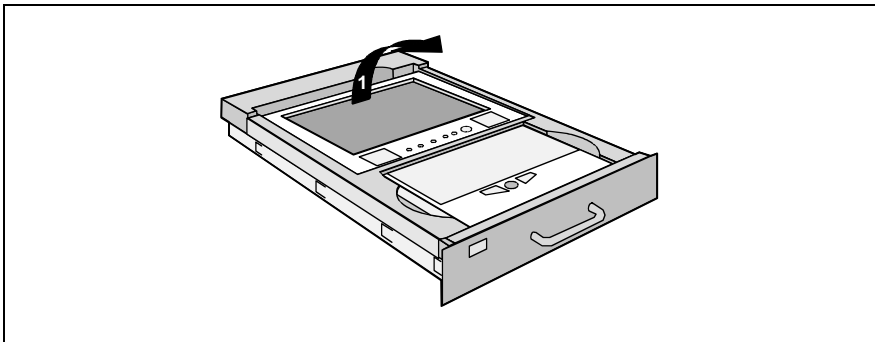
- フラットディスプレイ
- 延長用ユニット 1 式
- ケーブルキャリア 1 本
- VGA 延長ケーブル 1 本
- キーボード・マウス延長ケーブル 2 本
- 電源ケーブル 1 本
- 組立用金具
- 各種マニュアル
- ▶ すべての部品を開梱します。

△注意

「重要なお知らせ」の安全情報に注意してください。



- ▶ フラットディスプレイからボール紙のカバーを取りはずします(1)。

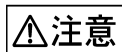


- ▶ 上部のくぼみを利用してモニターを起し、その下にある発泡スチロールを取り除きます。
- ▶ 運搬中の損傷がないかどうか、配送品を確認します。
- ▶ 配送品の内容が引渡し通知書の詳細と同じかどうか確認します。
- ▶ 保証書の最初のページに必要な詳細がすべて記入されていることを確認します。

重要なお知らせ

安全性

安全上の注意



この装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご質問があれば、担当営業員または担当保守員に連絡してください。

- この装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。
- この装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての指示と「取り付け」の指示をよく読んでください。
- この装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露が生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。
- 地域の線路電圧がこの装置の許容範囲内であることを確認してください。定格電圧がこの装置に合うように設定されていることを確認してください（「技術仕様」とこの装置の型式板を参照してください）。
- この装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。接地壁コンセント以外には接続しないでください。感電、短絡の原因になります。
- この装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き差しがすぐにできるようにしておいてください。
- 損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したりはずすときは、「取り付け」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データ伝送ケーブルを接続したりはしないでください。
- この装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置のスイッチを切り電源ケーブルをはずして、担当営業員または担当保守員に連絡してください。
- この装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーがこの装置を開いたり誤った修理を行うと、感電や火災などの原因になることがあります。
- この装置を開ける前に、まずスイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。この装置を開ける場合は、装置の操作マニュアルか技術マニュアルの指示に従ってください。

-
- 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の開放、取りはずし、交換は、資格のある人以外はできません。
 - モニタ説明の「技術仕様」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。それ以外の設定を行うと、モニタが損傷することがあります。ご質問があれば、担当営業員または担当保守員に連絡してください。
 - 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要です。
 - 線路電圧を切断するには、接地電源コンセントから電源プラグを抜きます。
 - サーバを清掃するときは、「操作」の該当部分に従ってください。
 - このマニュアルはこの装置とともに保管しておいてください。この装置を第三者に譲渡する場合は、このマニュアルも譲渡してください。

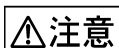
CE 認証



この装置の出荷バージョンは、EEC 指示 89/336/EEC「電磁的適合性」と 73/23/EEC「低電圧指示」の要件に準拠しています。

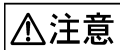
廃棄とリサイクル

フラットディスプレイの運搬



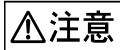
注意 フラットディスプレイを別の場所に運搬する際は、購入されたときにこの装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。運搬処理がすべて完了するまで、フラットディスプレイは開梱しないでください。

取り付け



「重要なお知らせ」の安全情報をよく読んでください。

ケーブルの接続と取り外し



ケーブルを接続する前に、この装置に関するマニュアルを読んでください。雷雨のときは、ケーブルを接続したりはささないでください。はずすときは、ケーブルではなく、プラグ本体を持ってください。ケーブルの接続と取り外しは次の順序に従ってください。

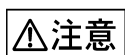
ケーブルの接続

- 電源と装置のスイッチをすべて切ります。
- 影響を受ける装置すべての電源プラグをラックの電源コンセントから抜きます。
- キーボードケーブル、マウスケーブル、モニターケーブルをそれぞれの装置に接続します。
- 電源ケーブルをスライドモジュールに差し込みます。
- すべての電源ケーブルを接地電源コンセントに差し込みます。

ケーブルの取り外し

- 電源と装置のスイッチをすべて切ります。
- 影響を受ける装置すべての電源プラグをラックの電源コンセントから抜きます。
- 電源ケーブルをスライドモジュールから抜きます。
- キーボードケーブル、マウスケーブル、モニターケーブルをそれぞれの装置から抜きます。

フラットディスプレイの取り付け



フラットディスプレイは、設置環境を守ってください（「技術仕様」を参照してください）。ほこり、湿度、熱を避けてください。
また、取り付けは必ず2人以上で行ってください。

取り付け手順

- 取り付けキットとフラットディスプレイの取り付け
- ラック構成に応じたケーブル接続

取り付けキットとフラットディスプレイの取り付け

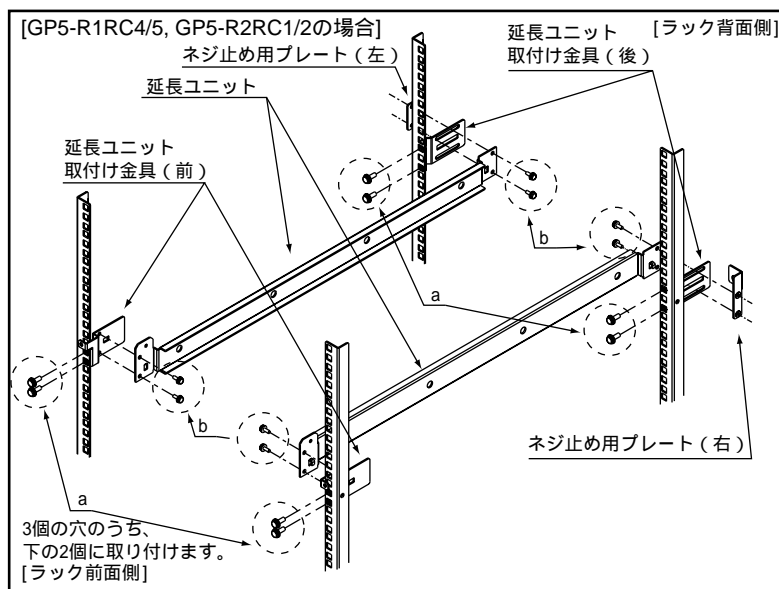
取り付けキットの取り付け

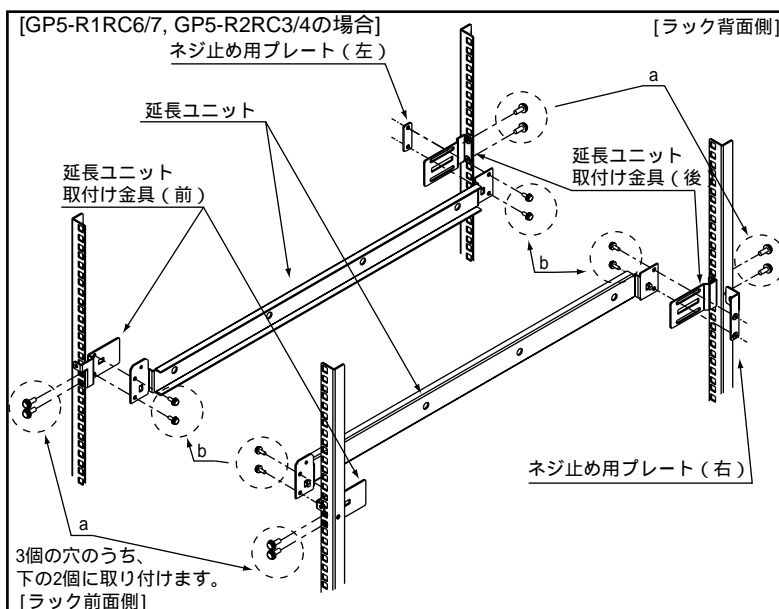
2

2 2

1

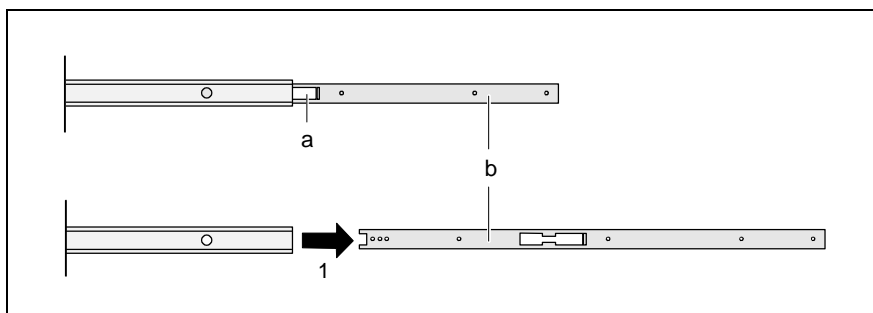
2



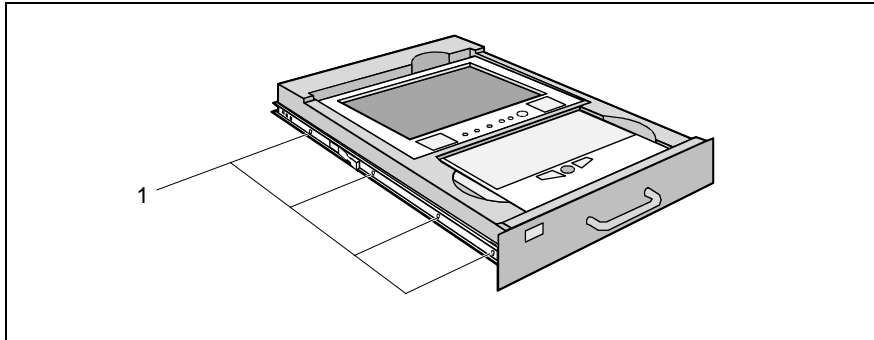


- ▶ 前後の延長ユニット取り付け金具をラックに取り付けます。それぞれ2本のネジでラックに固定します (a)。
- ▶ 延長ユニットを取り付けます。延長ユニットの前後外側のツメを取り付け金具の穴に入れ、前後それぞれ2本のネジで固定します。後ろ側の取り付け金具に取り付けるときは、取り付け金具背面からネジ止め用プレートで固定します (b)。ネジ止め用プレートは、右と左では形状が違いますので注意してください。

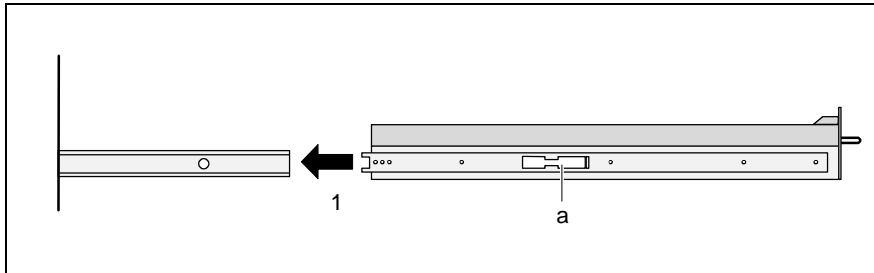
フラットディスプレイの取付け



- ▶ 延長ユニットから延長レールを引き出し、固定用ばね (a) を押し、内側のレール (b) を完全に引き出します (1)。



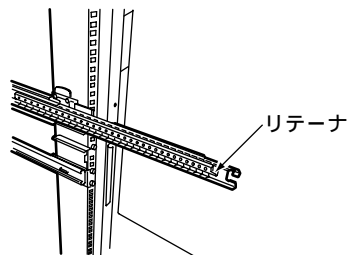
- ▶ 引き出した延長レールをフラットディスプレイの左右に4つずつ添付のタッピングネジ（皿ネジ）で固定します（1）。



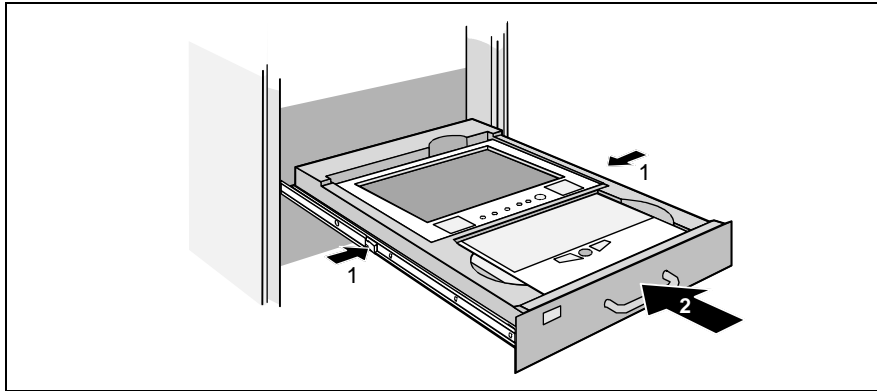
- ▶ 延長レールを取り付けたフラットディスプレイを、両側の固定用ばね（a）がしっかりとハマるまで、ラックに取り付けた延長ユニットに押し込みます（1）。

Point

- 延長ユニットにフラットディスプレイを取り付ける場合、延長ユニットはロックされるまで手前に引き出してください。また、延長ユニット内のリテーナ（丸いボールがいくつもついたレール）も最大限手前に移動させてください。
- 延長ユニットにフラットディスプレイを取り付ける場合、リテーナにしっかりとハマっているかを背面側から確認してから、前面側から押し込んでください。



取り付け

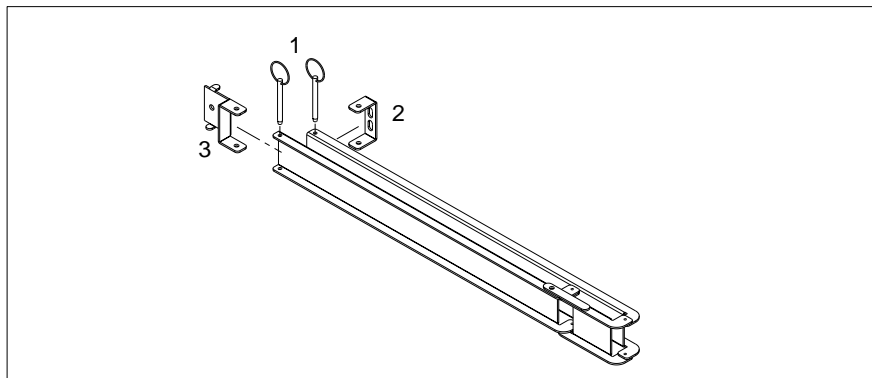


- ▶ フラットディスプレイの両側の固定用ばね (1) を同時に押し、コンソールをラックに押し込みます (2)。

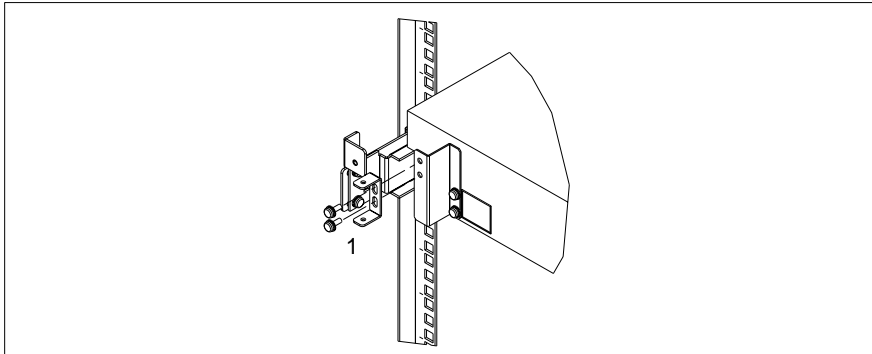
Point

延長レールを最初に押し込むときは、少し力が必要です。
上記の作業中、(1) を押している指を延長レールとの間に挟まないように十分注意してください。

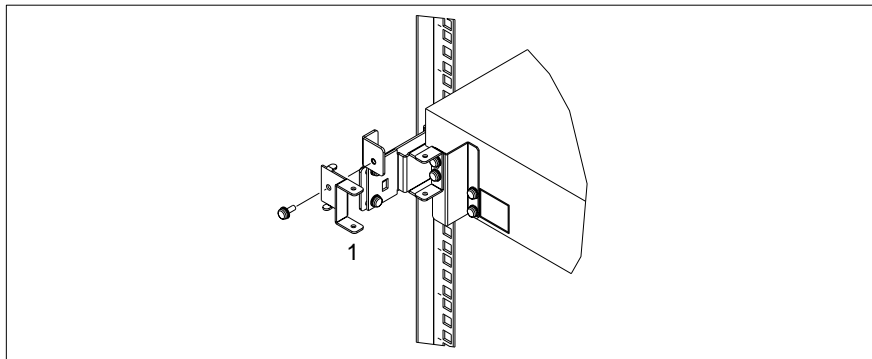
ケーブルキャリアの取付け



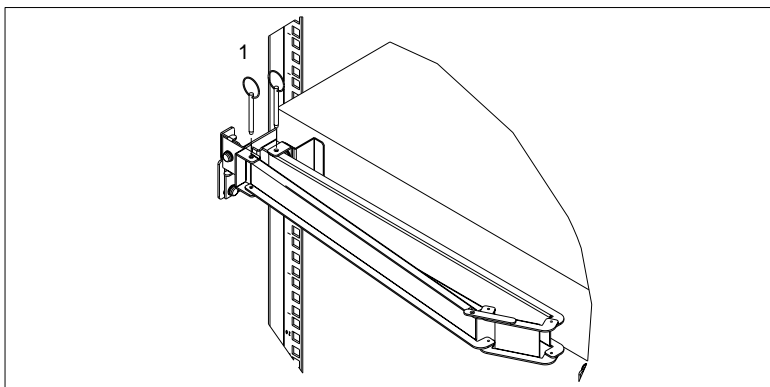
- ▶ 組立式ケーブルキャリアから組立金具を取り外します (1、2、3)。



▶ コンソール背面左の支持台に組立金具を2本のネジで固定します(1)。

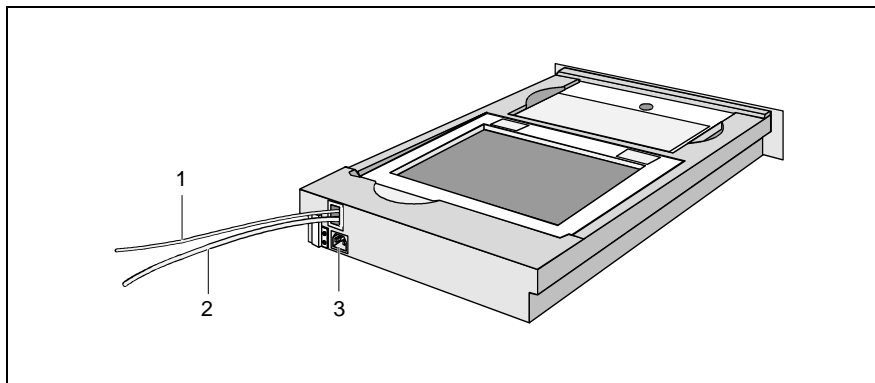


▶ スライドレールに組立金具をネジで取り付けます(1)。



- ▶ ケーブルキャリアを組立金具にピンで固定します(1)。
- ▶ ケーブルのキャリアの向きに注意してください。
- ▶ スライドモジュールを引き出してもう一度簡単に押し込めることを確認してください。

ラック構成に応じたケーブル接続

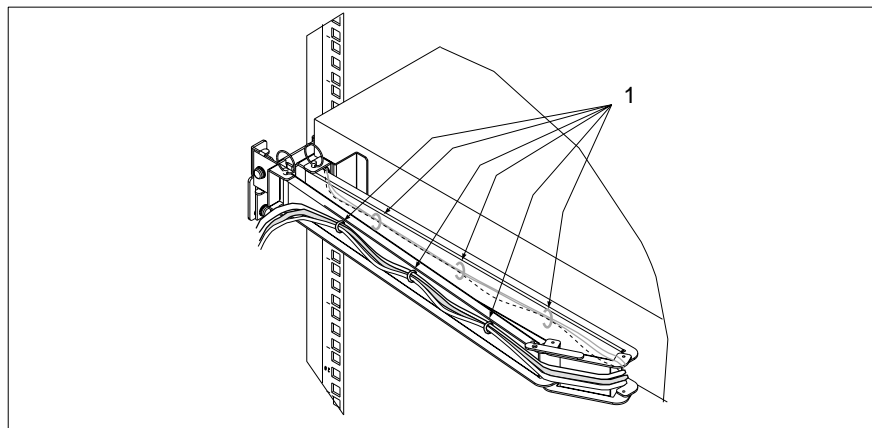


1=キーボードとマウス

3=電源

2=ディスプレイ

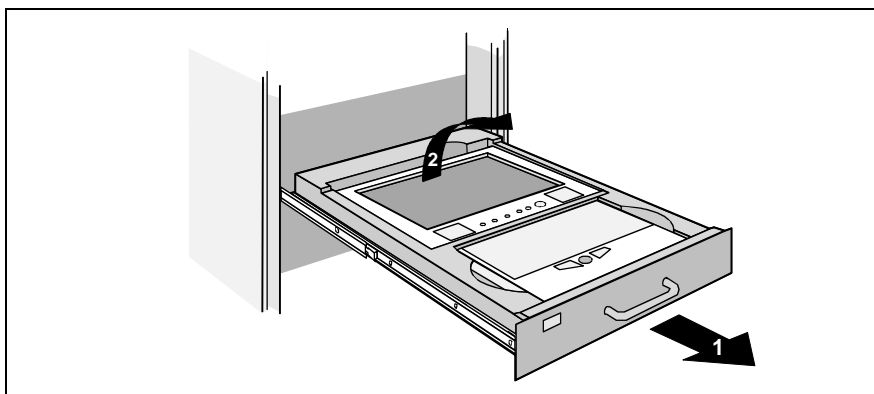
- ▶ ラック構成に応じて、キーボード/マウスケーブル（1）をサーバまたは切替器のキーボード/マウスコネクタに差し込みます。
- ▶ ラック構成に応じて、モニターケーブル（2）をサーバまたは切替器のモニターコネクタに差し込みます。
- ▶ 電源ケーブルを、フラットディスプレイの電源インレット（3）と、ラックの複数コンセント部品または無停電電源装置の空いているコンセントに差し込みます。
- ▶ それぞれのケーブルを識別できるようにマークを付けます。



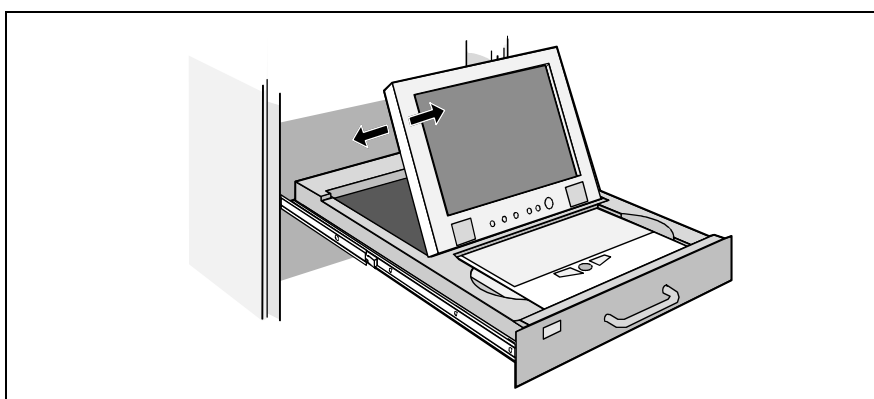
- ▶ 上図のようにケーブルを配線し、6本のケーブル止め（1）で組立式ケーブルキャリアにしっかりと固定します。

操作

スライドモジュールの操作



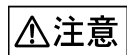
- ▶ ラックからフラットディスプレイを完全に引き出し（1）、奥のくぼみを利用してモニタを起こします（2）。



- ▶ モニタの位置を調節します。モニタの傾斜角度は無段階で調節できます。

モニタの調節

- ▶ 最初の起動中に、接続されているサーバすべてで解像度を 1024×768 に設定します。
- ▶ 最適な画像調整についての補足情報が、モニタの取扱説明書に記載されています。



フラットディスプレイをラックから引き出して使用中に、強い力を加えると、ラックが転倒するおそれがありますので注意してください。

切替器を利用時の操作

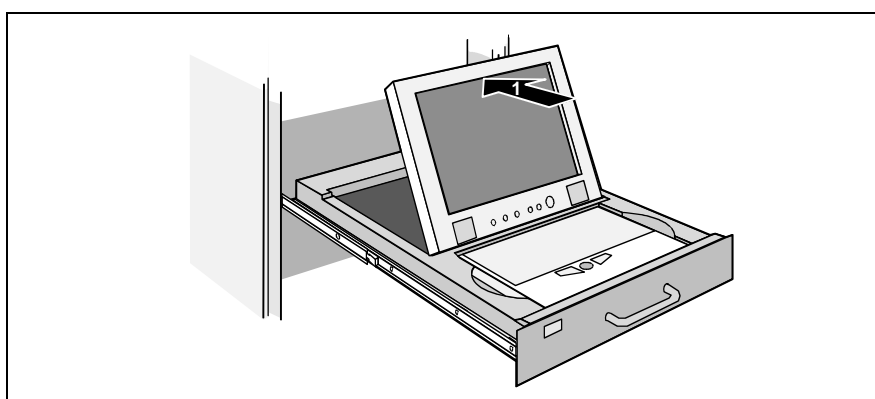
CRT

1

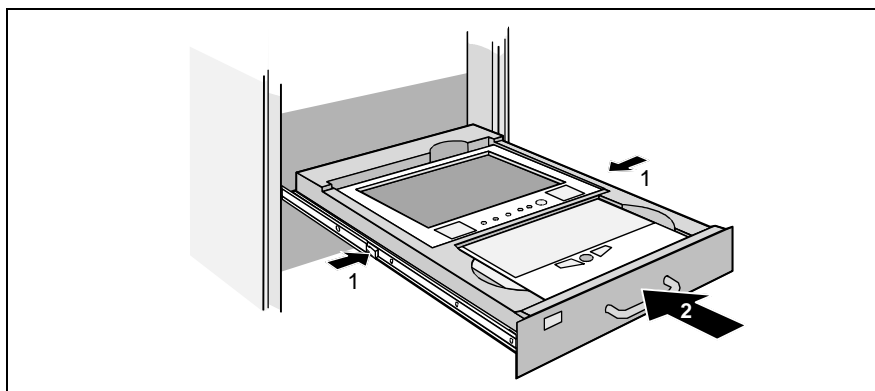
- ▶ 画像が正しく表示されないサーバのリフレッシュレートを別の値に設定します。
- ▶ 最適な画面表示を選択し、その設定を保存します。

スライドモジュールの格納

Point フラットディスプレイの出し入れはゆっくりと行ってください。



▶ スライドモジュールに完全に収まるように、モニタを倒します。

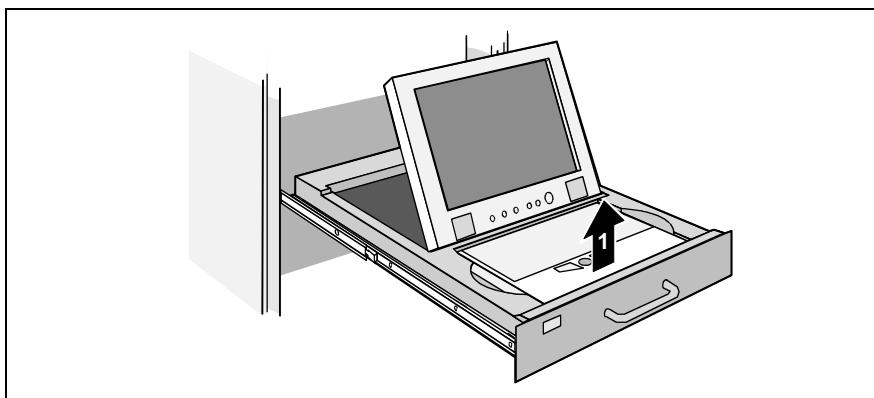


▶ フラットディスプレイの両側の固定ばねを押し(1)、コンソールラックをラックに押し戻します(2)。

△注意 フラットディスプレイをラックに格納時、モニタを倒してもモニタの電源は切れません。モニタの電源ボタンを押下して電源を切ってから格納するようにして下さい。

収納ボックス

CD



- ▶ 収納ボックスを開けるには、左右のくぼみを利用してキーボードを起こしてください（1）。

スライドモジュールのお手入れ

△注意 モニタを倒し、接地電源ソケットから電源プラグを抜いてください。研磨剤を含む清掃剤を使用しないでください。プラスチックが変質することがあります。また、システムに液体が入らないようにしてください。



技術仕様

電気仕様

定格電圧範囲：	100 V - 240 V
周波数：	50 Hz - 60 Hz
定格電流：	最大 1.2 A
保護クラス：	I
準拠規格：	EN 60950 / VDE 0805 UL 1950 CSA 22.2 No 950
LCD 寿命： (輝度が 50%になるまでの時間)	20,000h

外形寸法



幅：	483 mm (19")
奥行：	690 mm
高さ：	89 mm
質量：	約 19kg



環境条件

環境クラス 3K2	DIN IEC 721 part 3-3
環境クラス 2K2	DIN IEC 721 part 3-2
温度：	
• 使用時 (3K2)	15 - 35
• 運搬時 (2K2)	-25 - 60

索引

C

CE 認証	4
CE 認証の注意	4

E

EMC	4
-----	---

T

TFT モニタ	1
---------	---

あ

安全上の注意	3
安全性	3
運搬	4
お手入れ	
キーボード	15
サーバ	15
マウス	15
モニタ	15
温度	16

か

外形寸法	16
画面解像度	13
環境クラス	16
環境条件	16
環境データ	16
キーボードケーブル	11
記号	1
技術仕様	16
切替器	11
ケーブル接続	11
ケーブルの接続	5
ケーブルの取り外し	5
切替器	13

梱包材料	2
梱包品の内容	1

さ

サーバ	11
質量	16
収納ボックス	15
重要なお知らせ	3
垂直周波数	13
操作	12

た

注意	
廃棄とリサイクル	4
電気仕様	16
電源	12, 14
電源ケーブル	11
電磁波	4
取り付け	5
取り付けキット	6
取り付け手順	6

は

廃棄とリサイクル	4
表記規則	1
保証書	2

ま

マウスケーブル	11
モニタケーブル	11

ら

リサイクル	4
リフレッシュレート	13
ロック機構	12